2017 年 4 月 1 日発行

# 点訳通信

## 93 号

日本ライトハウス情報文化センター
点字製作係
発行責任者　竹下　亘
〒550-0002　大阪市西区江戸堀 1-13-2-8F
TEL 06-6441-1028（点字製作係直通）

一人で歩いていると、よく声をかけられるようになりました。「どこまで行かれますか？」、「いっしょに行きましょう」とか、「よかったらどうぞ」と手を差し出してくださったり、時には、「もっとこっちです」と言って点字ブロックを教えてくださる人も。声のかけ方は違っても、気に留めていただけることはありがたいと思っています。

（点字製作係　奥野真里（おくのまり））

【 休館日のお知らせ 】

４月 29 日（土）休館（昭和の日）
５月　３日（水）休館（憲法記念日）
５月　４日（木）休館（みどりの日）
５月　５日（金）休館（こどもの日）
（ゴールデンウィークはカレンダー通りです）

●創刊１周年記念

# 「アミ・ドゥ・ブライユ」読者交流会

## 小学１年生から高校１年生まで
## 読者 14 人が各地から大集合！

児童向け点字雑誌『アミ・ドゥ・ブライユ』が創刊一周年を迎え、昨年１２月２３日、初めての読者交流会「ひろがれ！点字『みんなでアミ・ドゥ・ブライユ』」を開催しました。

近畿地方を中心に、石川、愛媛からも参加があり、小１から高１までの読者が１４人。学校の先生や、読者の保護者・兄弟など、全体で約５０人の集まりとなりました。

前半は読者の皆さんの交流会。自己紹介をした後、雑誌の感想や、今関心があることを自由に発言してもらいました。初めは張りつめていた空気も徐々に和み、皆さんそれぞれに手を上げてくれるようになりました。

歴史に興味があるという男の子たちからは、「動くお城（弘前城）の話が面白かった」という感想や、「『おもしろレキばな』で歴史上の人物のことを読むのが楽しみです」という声が。女の子たちからは、芸能ニュースや人気アイテムを掲載している「ときめきトピックス」を楽しみにしているという声が多く、ファッションや流行に関心が高いことがわかりました。

毎号掲載の「脳トレクイズ」は、男子・女子ともに楽しみにしているとの声があり、人気コーナーのようです。中には、難しかった問題を教えてくれる読者もいて、今後のクイズを考案する上でのヒントになりました。この他、「宇宙のことに興味があるので、ぜひ載せてほしい」（男子）とか、「星座占いが面白かったので、また載せてほしい」（女子）という要望もありました。

保護者の方からは、「雑誌が届くとすぐに自分で封を切って雑誌を取り出し、夢中で読んでいます」、学校の先生からは、「生徒たちの話題の中に『アミ・ドゥ・ブライユ』が出てくることがよくあります」など、読者の皆さんが日ごろから雑誌を心待ちにしてくれている様子を聞かせていただきました。

(C)WANPUG

# リオ・パラリンピック銀メダリストの木村敬一さん（競泳）と熱い触れ合い

後半は、昨年のリオデジャネイロ・パラリンピックに出場した競泳の木村敬一さんの講演会でした。

木村さんは滋賀県出身。幼いころから体を動かすことが好きで、すぐにどこかへ行ってしまうような子どもでした。いつも怪我が絶えない木村さんを見て、お母さんが水泳を始めるきっかけを作ってくれたそうです。生まれ育った滋賀県を離れ、中学から東京に進学し、さまざまな友達や先生と出会います。そして、めきめきと泳ぐ力をつけ、数々の大会にも出場するようになります。そんな中、競泳でパラリンピックに出場していた先輩を見て、自分もパラリンピックへ出場しようと目標を決めます。それからは目標に向かって厳しいトレーニングを積んでいきました。

パラリンピックには北京、ロンドン、リオデジャネイロと３大会続けて参加している木村さんですが、各大会で目指した目標も結果も違ったそうです。リオデジャネイロ大会では金メダルを狙っていたのに惜しくも手が届かずに終わりました。ロンドンからの４年間を、その目標一点に集中して取り組んできただけに、ショックが大きかったというお話は、出場選手の大会にかける思いの大きさがひしひしと伝わってきました。

興奮を抑えきれなくなったのか、数人のお子さんがお話の途中で質問をしたりしましたが、木村さんは軽く優しく返事を返され、話がずれてもうまくまとめてくださいました。

講演終了後には、リオで獲得された銀メダル２個、銅メダル２個をみんなで触ったり、音を出すために中に入っているという鉄の球を確認すべく、メダルを振らせてもらったりしました。

交流会の締めくくりは「みんなで脳トレクイズ」でした。一斉に点図を触り、その中に三角形がいくつあるか探してもらうという内容です。全員が真剣な様子。それまであちこちから聞こえていた話し声は嘘のようにぴたっと止まり、クイズに挑戦していました。

参加してくださった皆さんの年齢層の幅が広かったため、高学年の読者からは、同世代の友達ともっとゆっくり情報交換したかったといった感想もありましたが、直接、読者同士が交流できる場になったことを嬉しく思います。今後の雑誌作りのヒントをたくさん得ることもできました。これからも、一層内容の充実した楽しい雑誌を作っていきたいと思います。

●２０１７年度・第３０回専門点訳講習会

# 教科書・教材点訳コースのご案内

主催：毎日新聞大阪社会事業団
日本ライトハウス情報文化センター

地域の学校で学ぶ視覚障害学生のための教材支援を始まりとする専門点訳講習会も、今年で３０年を迎えました。この３０年の間に「インクルーシブ教育」は社会の中で認知され、今や多くの視覚障害学生が地域の学校で学んでいます。また２００８年に「教科書バリアフリー法」が施行されたことも追い風になり、点字教科書・教材の需要はますます高まっています。

本講習会では、視覚障害学生への安定した教材支援を目指し、すでに点訳の基礎を身につけ、活動されている方を対象に、図・表・写真が多用されている教科書・教材を点訳するための専門点訳技術を、教科ごとに学びます。

●日程

２０１７年７月１４日～９月１５日の金曜日（８月１１日除く）

＊「概論、講演」（７月１４日）必須
それ以外は関心のある教科を選択して受講（全回受講も可）

| | | |
|---|---|---|
| 概論、講演（全１日） | ７月１４日 | １０時～１５時 |
| 国語（全１日） | ７月２１日 | １０時～１５時 |
| 英語（全１日） | ７月２８日 | １０時～１５時 |
| 算数・数学（全１日） | ８月４日 | １０時～１５時 |
| 理科（全２日） | ８月１８日・２５日 | １３時～１６時 |
| 社会（全２日） | ９月１日・８日 | １３時～１６時 |
| その他の科目（全１日） | ９月１５日 | １３時～１５時 |

| | |
|---|---|
| 講　　師 | 当館職員、教科書点訳ボランティア、ほか |
| 対　　象 | すでに点訳活動の経験があり、教科書点訳に関心をお持ちの方 |
| 定　　員 | 「概論、講演」４０人、各教科１５人 |
| 申込方法 | 申込書をメールまたはＦＡＸで送付<br>※申込み多数の場合は抽選 |
| 申込期間 | ２０１７年５月９日（火）～６月３０日（金） |
| 会　　場 | 日本ライトハウス情報文化センター　４階会議室４０１ |
| 受 講 料 | １，５００円（初日のみ受講される場合は５００円） |

＊お問合せ・お申込みは、点字製作係までご連絡ください。